

研究指導の概要

■電子・物理工学サブプログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等	
1 年 次	春	A	電子・物理工学特別研究IA 1年次生を対象に、電子・物理工学分野の基礎知識と専門知識を実験、理論とともに討議を通して習得させる。研究室における研究指導と大学院セミナーの形態で実施する。大学院セミナーの発表では、研究の目的、位置づけ、内容、進捗状況について発表を行う。専門分野の聴衆に十分な理解が可能となるように発表を準備すること。大学院セミナーは木曜3時限に開講し、学年順に発表を配置する。
		B	研究指導は各担当教員による。研究テーマを決定するための研究打ち合わせ、その背景を理解するための論文輪講などを定期的に行う。
		C	
	秋	A	電子・物理工学特別研究IB 研究室での研究では、指導教員と密接に連絡をとり指導を受けること。引き続き研究テーマ決定のための研究打ち合わせおよび論文輪講などを行う。研究テーマ決定後は実験設備等の利用方法等を習得する。大学院セミナーの発表では、研究の目的、位置づけ、内容、進捗状況について発表を行うこと。専門分野の聴衆に十分な理解が可能となるように発表を準備すること。
		B	
		C	
2 年 次	春	A	電子・物理工学特別研究IIA 研究室での研究では、指導教員と密接に連絡をとり指導を受けること。研究方法について指導教員と打ち合わせを定期的に行い、その方法にしたがって主体的に研究活動を行う。大学院セミナーの発表では、研究の目的、位置づけ、内容、進捗状況について発表を行うこと。専門分野の聴衆に十分な理解が可能となるように発表を準備すること。
		B	
		C	
	秋	A	電子・物理工学特別研究IIB 研究室での研究では、指導教員と密接に連絡をとり指導を受けること。研究方法について指導教員と打ち合わせを定期的に行い、その方法にしたがって主体的に研究活動を行う。論文提出・修論発表会に十分間に合うように計画する。大学院セミナーの発表では、研究の目的、位置づけ、内容、進捗状況について発表を行うこと。専門分野の聴衆に十分な理解が可能となるように発表を準備すること。
		B	
		C	修士論文提出（1月下旬） 修士論文発表会（2月上旬）